

経営比較分析表（令和6年度決算）

滋賀県 総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	33	対象	I 訓 方	救 臨 が 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,405,246	86,453	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

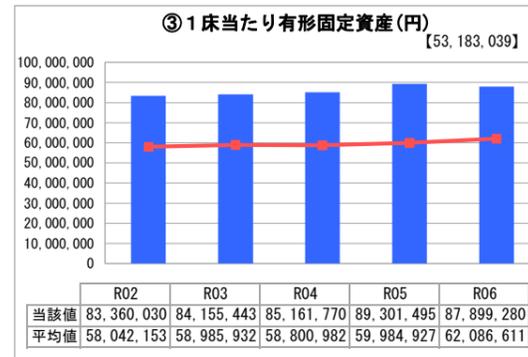
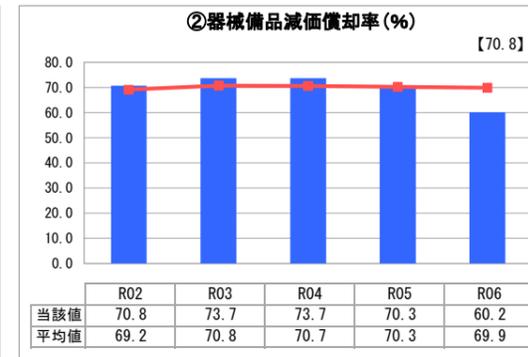
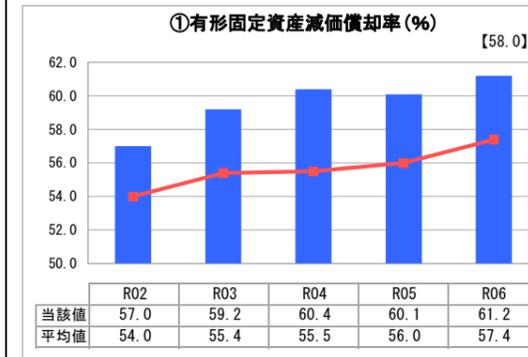
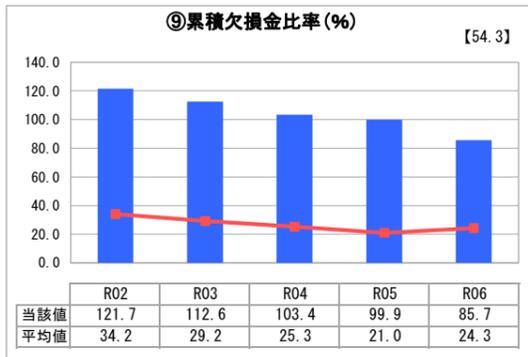
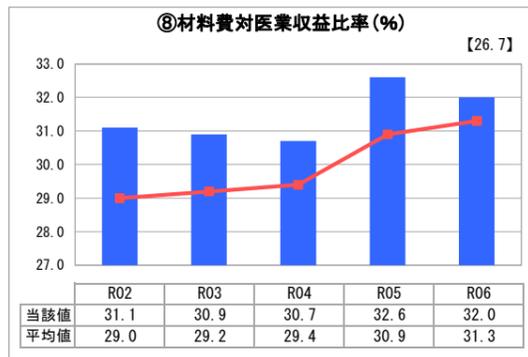
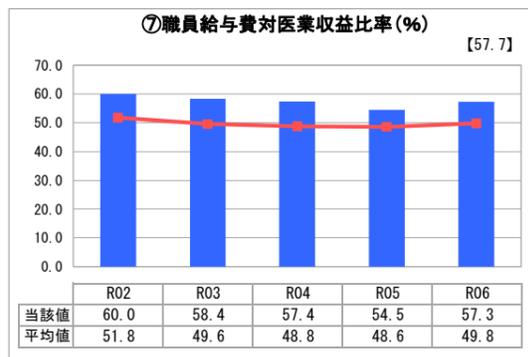
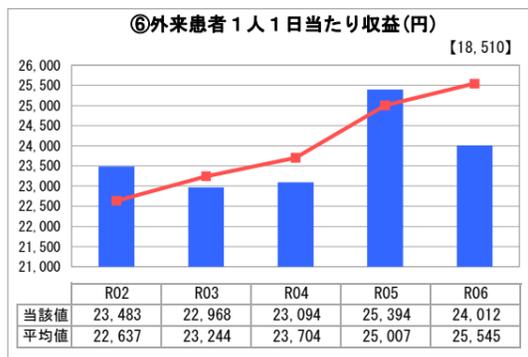
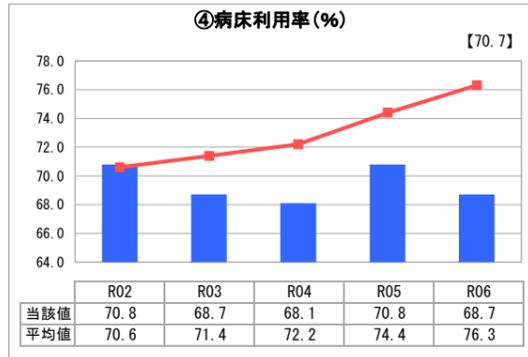
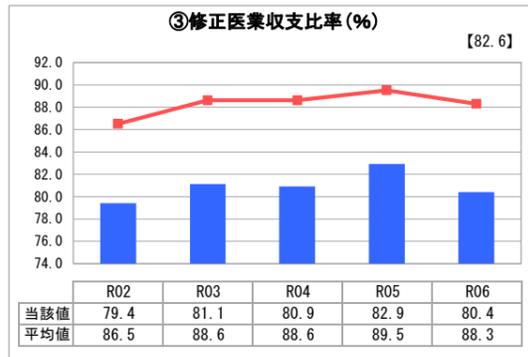
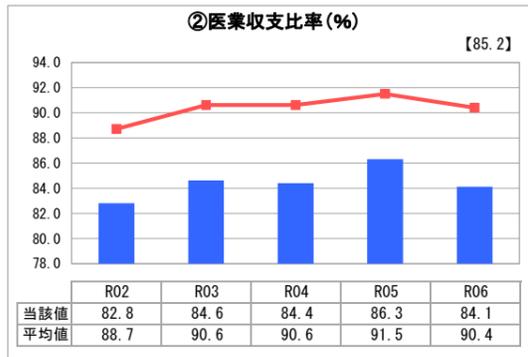
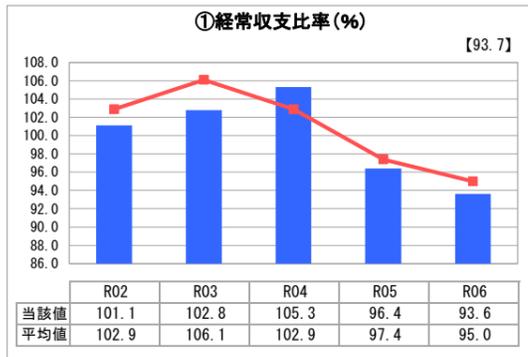
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
635	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	635
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
635	-	635

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ・都道府県がん診療連携拠点病院として、手術、化学療法、放射線治療のほか、リハビリ、再建医療、緩和ケアも含めた多角的、総合的な高度医療を県内全域に提供している。
- ・県域でのがん・心疾患・脳血管疾患等の生活習慣病に対する高度医療や、地域における2次救急の役割を担っている。
- ・令和7年1月に小児保健医療センターと統合し、院内にこども医療センターを設置。難治・慢性疾患の治療に継続的に取り組み、医師の連携治療を行うなど、統合効果を生かした専門医療を提供している。
- ・母子保健の中核的支援拠点として、精密検診事業等を通じて早期治療や訓練が適切に受けられる小児保健サービスの提供や、医療型児童発達支援センターとして、専門性を活かした総合的療育とリハビリ、地域療育教室への職員派遣などを行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収入面においては、旧総合病院、旧小児保健医療センターともに入院・外来患者数が増加しており、診療報酬改定に応じた施設基準の見直しや病院統合によるDPC制度の適用拡大等により医業収益は増加した。外来単価については、旧小児保健医療センターとの統合の影響により、昨年比で下落となった。
- ・費用面においては、給与費が増加するとともに、物価高騰等の影響により経費も膨らんだ。
- ・以上、収入面は増加したものの、費用面もそれ以上に大きく増加したことから経常収支比率、医業収支比率、修正医業収支比率ともに前年度比で下落した。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産については平成28年度に建設した新病棟にかかる減価償却額が累積し、有形固定資産減価償却率が高水準にある。
- ・医療技術が高度化する中で、引き続き安全で質の高い医療を提供していくため、効果的な建物、医療機器の整備・更新を進めていく。
- ・当院は小児分野を含め高度・先進医療の提供に必要な機能を整備しており、1床当たり有形固定資産が全国平均を上回っている。

全体総括

- ・がん診療においては、令和5年度の新放射線治療棟竣工後、稼働準備を進めてきた最新の放射線治療装置による診療を令和6年10月より開始し、患者負担の少ない治療を行った。こうした放射線治療のほか、ロボットによる手術や化学療法、がんゲノム医療といった最新の手法も取り入れ、患者一人ひとりに合った負担の少ない治療を提供するなど「都道府県がん診療連携拠点病院」としての役割を果たしてきた。
- ・救急医療においても、湖南圏域における2次救急医療機関として期待される役割を果たせるよう救急車の受け入れ拡大に取り組み、圏域における救急車応需割合が1/4まで高まった。
- ・今後は厳しい経営状況の中、質の高い医療を安定して提供するためさらに診療収益を確保する必要がある。そのため、診療体制の充実を図るとともに、地域の診療所や病院等との連携強化による患者の確保を一層推進する。併せて、救急患者の受け入れや手術件数の増大、経費の削減などあらゆる取組を行う必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和6年度決算）

滋賀県 精神医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,405,246	10,398	非該当	非該当	15:1

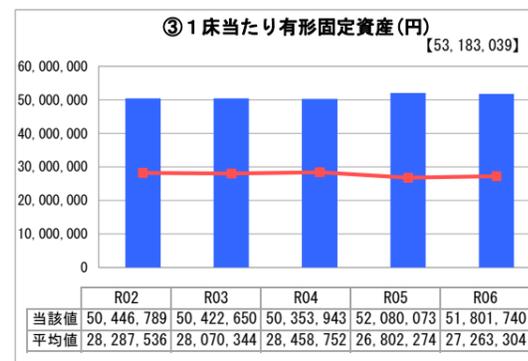
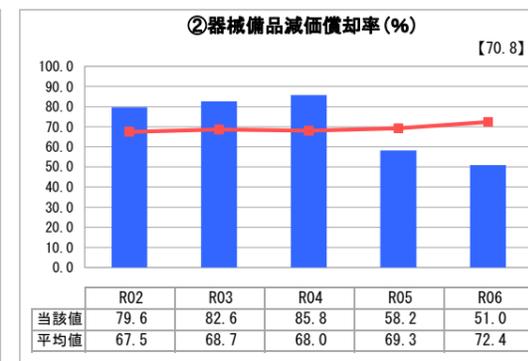
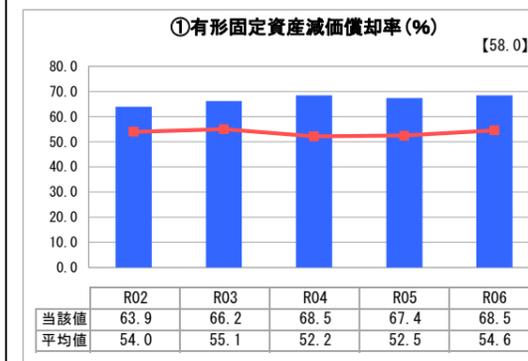
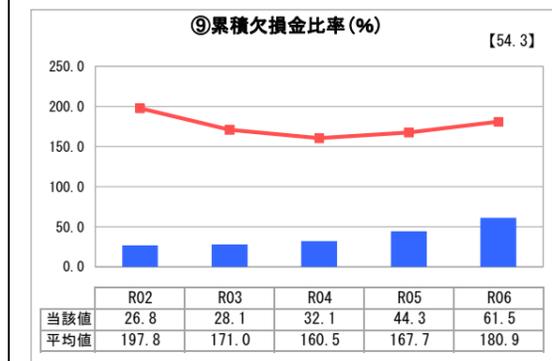
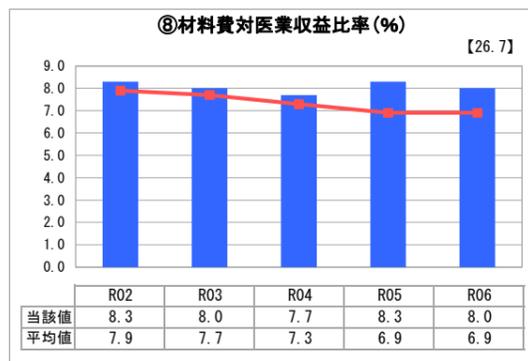
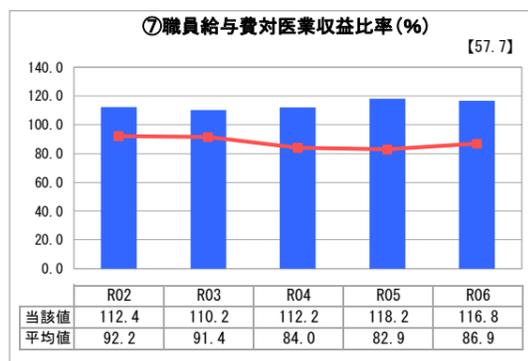
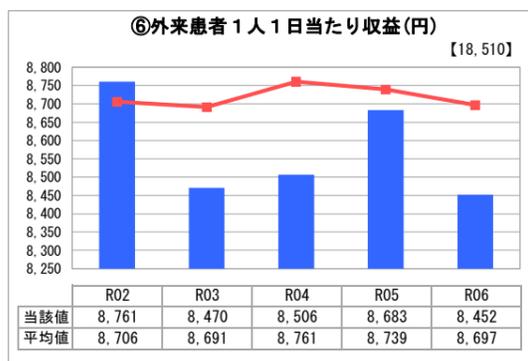
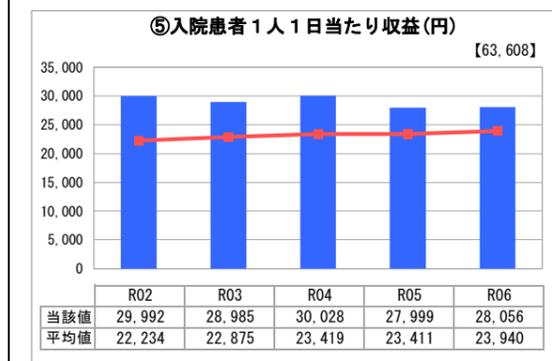
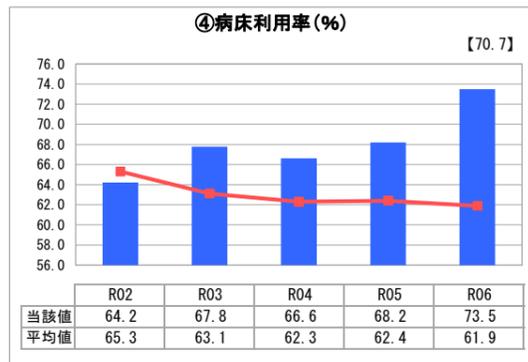
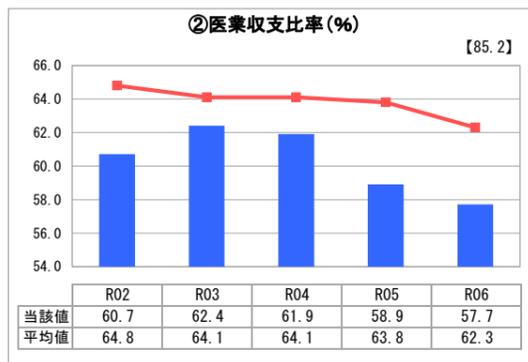
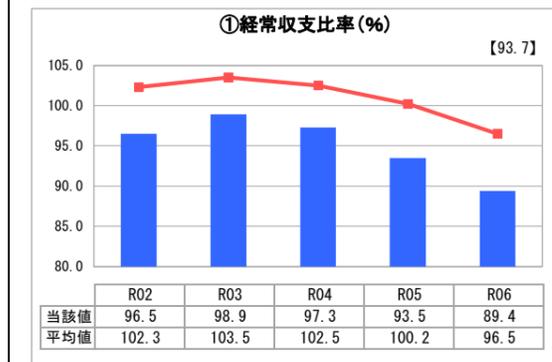
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
123	-	123
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ・県内の精神医療を担う中核施設として、地域医療機関や保健所などの関係機関との連携のもと、思春期精神障害、アルコール依存症等中毒性精神障害、精神科救急医療および身体疾患を伴う精神障害などを中心として、高度・特殊専門医療を担っている。
- ・また医療観察法に基づく鑑定入院および指定通院・入院医療機関としての医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・入院・外来収益は前年度から増加し、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みから一定回復傾向にあるものの、いまだにコロナ禍以前の水準まで改善していない。また、人件費や材料費等の費用増加が重なり、令和5年度に引き続き赤字となった。
- ・令和5年度と比較すると、入院については患者数および単価ともに増加し、外来は患者数および単価が減少した。
- ・累積欠損金比率は類似病院平均値を下回ってはいはいるが年々増加傾向にあるため、引き続き医業収支比率を改善し、累積欠損金の解消に努める。

2. 老朽化の状況について

- ・病院建物の大部分は平成5年度に開設したものであり、有形固定資産減価償却率は類似病院平均値と比較してやや老朽化が進んでいる。
- ・県立病院としての役割を果たせるよう一般的な病院以上の機能を付加して建設しているため、1床当たり有形固定資産が高くなっている。

全体総括

- ・令和6年度は、診療収益の落ち込みが継続していることや、人件費や物価高騰の影響で材料費等の費用が増加していることにより、令和5年度に引き続き赤字決算となった。
- ・一層の診療収益確保、経費節減の取組などにより健全な経営に努め、県立病院としての役割を果たしていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。